

令和6年度 焼却施設の維持管理に関する記録

井原地区清掃施設組合
井原クリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの数量

区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
焼却量	1号炉	t	/	/	929.0	1,037.9	1,201.9	/	/	/	/	/	/	3,168.7
	2号炉	t	1,068.2	1,052.0	/	/	/	966.5	1,057.1	/	/	/	/	4,143.8
合計焼却量	t	1,068.2	1,052.0	929.0	1,037.9	1,201.9	966.5	1,057.1	/	/	/	/	/	7,312.4

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室内 燃焼ガス 温度 *1	1号炉	800°C 以上	/	/	910	901	911	/	/	/	/	/	/	/	907.3
	2号炉		920	918	/	/	/	926	924	/	/	/	/	/	922.0
	最高値		931	928	923	919	924	935	935	/	/	/	/	/	927.9
	最低値		898	886	874	850	887	900	911	/	/	/	/	/	886.6
集塵機流 入燃焼ガ ス温度 *2	1号炉	200°C 以下	/	/	195	195	196	/	/	/	/	/	/	/	195.3
	2号炉		195	195	/	/	/	195	195	/	/	/	/	/	195.0
	最高値		198	198	201	197	199	197	198	/	/	/	/	/	198.3
	最低値		191	190	190	189	191	191	191	/	/	/	/	/	190.4
排ガス中 一酸化炭 素濃度 *3	1号炉	100ppm 以下	/	/	20.0	20.0	21.0	/	/	/	/	/	/	/	20.3
	2号炉		22.0	21.0	/	/	/	20.0	4.0	/	/	/	/	/	16.8
	最高値		43.0	30.0	48.0	36.0	56.0	10.0	10.0	/	/	/	/	/	33.3
	最低値		9.0	13.0	7.0	0.0	7.0	4.0	0.0	/	/	/	/	/	5.7
備 考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置 *1炉出口 *2バグフィルタ入口 *3バグフィルタ出口

◆用語解説

ハーツ・パー・ミリオン

ppm(ピー・ピー・エム)… 100万分のいくらであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。parts per millionの略。
100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	令和6年9月18日	令和6年7月17日
焼却炉	令和6年9月18日	令和6年7月17日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	令和6年6月27日	令和6年5月17日
結果の得られた年月日	/	/	/	令和6年7月22日	令和6年6月5日
ダイオキシン類濃度	5	5	ng-TEQ/m³N	0.12	0.20

採取位置:煙突内中間地点

◆用語解説

1ng(ナノグラム)… 10億分の1グラム

TEQ… ダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中でも最も毒性が強い2,3,7,8-TeCDDの毒性を1として、他のダイオキシン類の仲間の毒性の強さを換算した量として表した符号。

m³N(立法メートルノルマル)… 気温0°C、気圧1気圧の状態で換算した気体の体積。

5 ばい煙量又はばい煙濃度

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	令和6年6月27日	/	令和6年5月17日	/
結果の得られた年月日	/	/	/	令和6年8月5日	/	令和6年6月10日	/
ばいじん濃度	0.15	0.03	g/m³N	0.002未満	/	0.002未満	/
硫黄酸化物の量	K値17.5	K値17.5	m³N/h	0.06未満	/	0.06	/
窒素酸化物濃度	250	200	ppm	62	/	65	/
塩化水素濃度	700	300	mg/m³N	12	/	34	/

採取位置:煙突内中間地点

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる